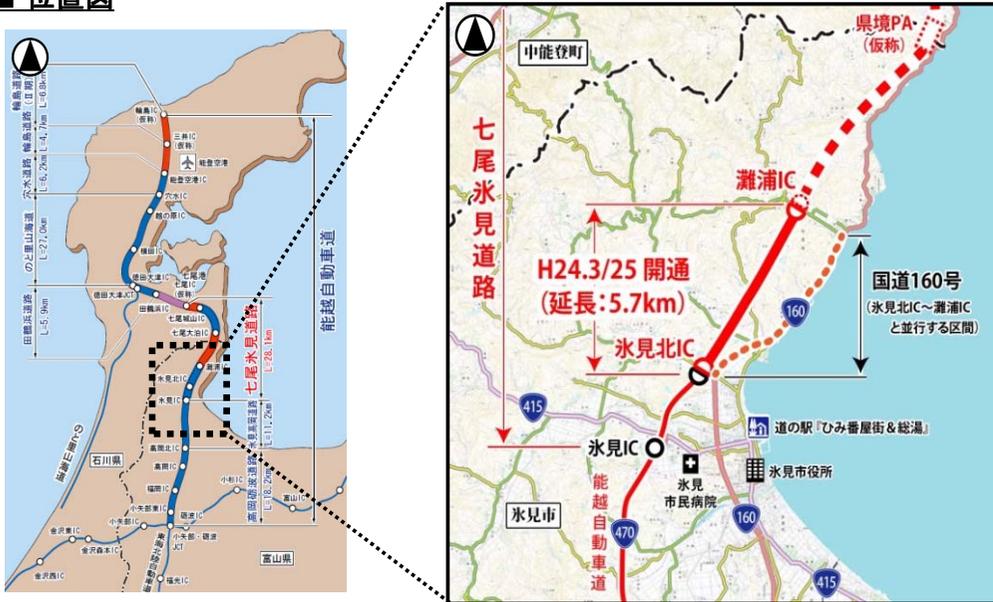


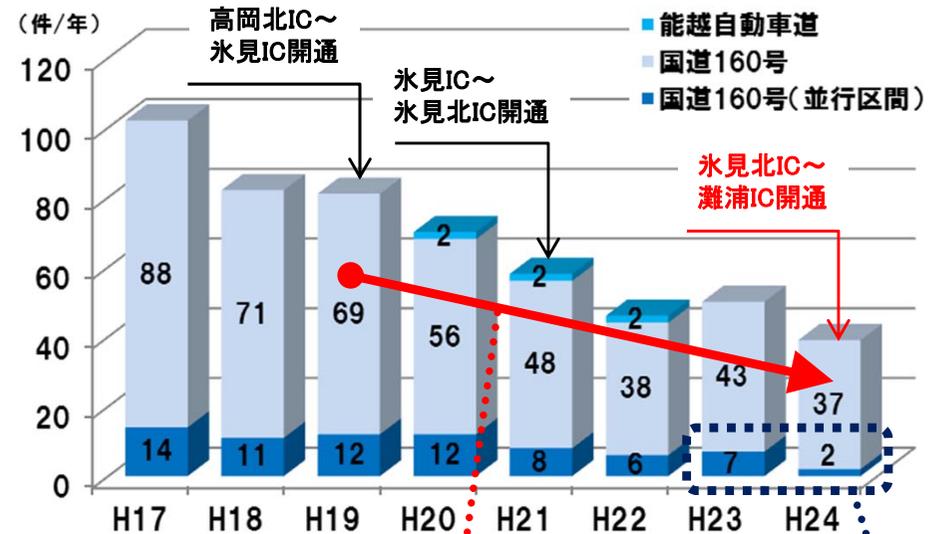
安全性の高い高規格道路の開通により並行する国道等の死傷事故が半減

- ・ 大型車等の交通が能越自動車道に転換したことで、国道160号の安全な走行環境が確保された。
- ・ 能越自動車道と並行する氷見市内の国道160号の死傷事故件数は、能越自動車道開通から6年間で半減(69件→37件)。
- ・ 特に平成24年度の開通区間(氷見北IC～灘浦IC)との並行区間では、約7割減少(7件→2件)。

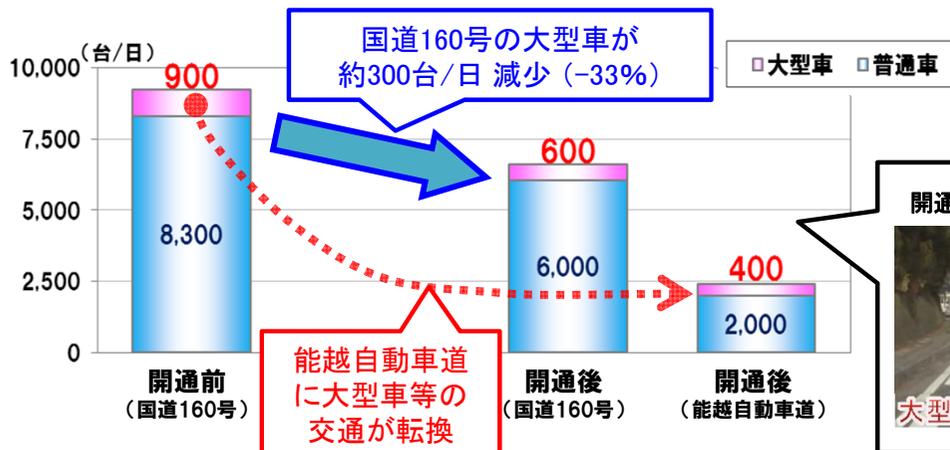
■ 位置図



■ 氷見市内の国道160号及び能越自動車道における死傷事故件数の推移



■ 国道160号から能越自動車道への交通転換効果



氷見市内に能越自動車道が開通して以降、国道160号の死傷事故が半減。また、能越自動車道の死傷事故は、年平均1件(開通後6年間で6件)と少ない。

開通区間と並行する国道160号は、能越自動車道への交通の転換により死傷事故が大幅に減少。



※ 出典 H17-22死傷事故件数:ITARDAデータ
H23-24死傷事故件数:富山県の交通事故月報(富山県警察本部交通企画課)
※ 国道160号(並行区間): 脇方交差点～稲積交差点間